第89号　広報かもう

広報かもう

No. 16
昭和41年
12月10日
蒲生町役場

町内の動勢
41年11月1日現在
総人口11,127人
男5,225人 女5,982人
世帯数 3,208戸

演奏中の自衛隊音楽隊

蒲生町自衛隊協力会 結成大会

日時 昭和四十一年十一月十五日

式典開始
1 開会のことば
2 経過報告
3 議長選出
4 議事
(1)会則審議について
(2)事業計画について
(ア)災害派遣時の協力
(イ)自衛隊の諸行事に必要な協力
(ウ)自衛隊の部外引受工事に対する協力
(エ)自衛隊員の募集に対する協力
(オ)自衛隊の広報に対する協力
(カ)防衛講演会、映画、音楽会等の開催
(キ)会員ならびに青少年の自衛隊見学及び生活体験
(ク)その他
(3)予算審議について
(4)役員選挙について
会長 小山田政弘
副会長 脇田 勇吉
〃 竹内 実弘
理事 山口 正志
〃 上原 守法
〃 谷口 宗清
〃 瀬之口高道
〃 各地区公民館長
監事 前村 明
〃 篠崎 光義
全会一致で選出する
(5)会長あいさつ
(6)来賓祝辞
1 鹿児島県知事(代理)
2 自衛隊国分駐とん地司令
3 自衛隊鹿児島地方連絡部長
4 鹿児島県自衛隊父兄会長
5 祝電被露
6 閉会のことば(竹内実弘)

① 午前九時三十分～十時
国分自衛隊音楽隊による市中パレード
順路 役場前出発～町通り～中原通り～中央通り～体育館に至る。

② 午前十時～十一時
会員、約三〇〇名出席

③ 十一時～十二時
自衛隊国分音楽隊による演奏会を行う
音楽隊員 二十七名

④ 十二時より懇談会にはいる。

御承知ですか
県下商工業者のための「県火災共済」

鹿児島県火災共済協同組合は、県内の商工業者を火災の損害から守るため、中小企業等協同組合法にもとずいて、設立された組合です。

県内の商工業者が、一般の損害保険会社に火災保険の契約をして、支払う保険料は年間約七億円にも上っています。この七億円は、すべて、県外の親会社に流れていますが、この「県火災共済」に加入しますと、この保険料は、すべて県内に残り、商工業者の店や工場の設備資金や商品購入その他の運転資金の融資にあてられることになります。

また本部が鹿児島市にありますので罹災の場合は支払いが早く、県がうしろだてになって、損失補償をしていますので、絶対に安全です。そのうえ営利を目的としてはいませんので、掛金(保険料)が非常に安くなっています。

火災シーズンを迎え、目下、県、県中小企業団体中央会、それに県火災共済協同組合が中心になり、県下各商工団体の協力のもとに「県下中小企業者火災共済総加入運動」を実施中です商工業者の方は、不慮の災害に備え、一人もれなく加入契約されるようおすすめします。

なお、取扱いは蒲生商工業協同組合で行っています

× × × × ×

昭和四十一年度上半期
本町の財政事情
……大事業と取組む積極予算……

今回は昭和四十一年四月より九月末日までの町の財政状況についてお知らせいたします。今年は当初予算の編成にあたり年度内に予見しうる経費を見たことが例年と異なりますが特に農業構造改善事業の第二年目の事業費、林業構造改善事業の初年度分事業費、蒲生小学校危険校舎（鉄筋）改築事業費等の大きな事業と取組んだほか、前年度からの継続事業であった体育館の建設事業や、ブルトーザーの購入費等多額の経費を計上した為、前年にくらべ予算の規模も相当大きく伸びていますが、全体的に見て大事業を大幅に導入した積極的な予算とも申せましょう。以下各会計別に予算の執行状況について述べることにいたします。

◆一般会計

ことしの当初予算は、一億七千七百十五万一千円で九月末日現在の予算額は、一億八千九百九十五万三千円となっておりますが、予算の編成に当っては自己財源の確実な見通しの上にたって極力才入の確保につとめながら、才出の面においては消費的な経費の節減をはかり、投資的経費の増大に留意しつつ健全財政の確立を期しております。以下才入才出について分析して見ましょう。

◇才　入◇

まず才入面から見てみますと予算総額一億八千九百九十五万三千円に対し九月末日現在の収入済額は九千七百六十八万九千円で予算に対し五一、四％の収入になっております。

さてこの才入予算の内訳を見てみますと町民の皆様方から収めていただく町税は二千七百五十九万三千円で予算の一四、五％を示しておりますが、本年度は固定資産税の免税点が引上げられた為、之に対応する減収百九万三千円が見込まれますが、反面宅地等に対する負担調整による増収と家屋新築等による自然増がありさらに、軽自動車税煙草消費税等の伸びがあり、昨年同期にくらべ百九十五万四千円の増となっております。地方交付税は前回にも述べましたように国が一定の算定方式によって町に交付されるものでありますが国税（所得税、法人税、酒税）の二九、五％の交付率が三二％に引上げられましたものの昨年度に比し僅かに四百五十万円程度の増額しか期待されない状況であります。

国庫支出金、県支出金、町債等がそれぞれ大巾に伸びておりますが、本年度は蒲生小学校危険校舎改築事業や体育館建設事業、農業林業構造改善事業等を施行した為増になったものであります。

財産収入は竹木売払代金、ブルトーザー貸付料等が主なもので九月末日現在で五百三十五万円を見込んでおります。

この外諸収入五百九十二万九千円、使用料及手数料二百八十五万三千円、基金からの繰入金八百八十八万六千円前年度からの繰越金百六十七万四千円分担金二十七万七千円等からなっておりますが、これらのお金を性質別に分けますと町民の自力で生みだす金は五千二百四十八万円で全体の二七・六％にとどまり、あとの一億三千七百四十七万三千円（七二・四％）は国や県の援助によってまかなっているのが本町財政の現状であります。

◇才　出◇

次に才出について見てみますともっとも大きな割合を示しているのが教育費の五千二百三十七万四千円でありますが、これは前にも述べましたように蒲生小学校の危険校舎改築事業費一千七百十七万七千円と体育館建設費（本年度分）一千六十万四千円の支出額が加はった為であり、農林水産業費四千三百七十三万九千円は農、林業構造改善事業費（林道工事費分を除く）二千六百七十一万五千円が計上されている為例年にくらべ特に多額に上っています。その外総務費の二千九百六十万七千円、労働費の一千五百三十四万二千円とつづいており細部についての説明は紙数の関係もあり省略し次に揚げる「九月末日現在における才入才出予算の内訳と収入支出の状況」を御覧下さるようお願いします。

以上一般会計の昭和四十一年九月末日現在における

【三頁へ続く】

心に火をたく
献本運動
一年間の成果

昨年十一月蒲生町に献本運動推進会が発足して以来広く町内外に協力をお願いして参りましたが、現在まで三五人の個人と三つの団体から五八・九〇〇円の現金と、二一五冊の図書が寄贈され、現金では一五二冊の新本を購入し、町民の「心の糧」として広く愛読されています。この運動に賛同寄贈いただいた方々には心から感謝申し上げます。なおこの運動をさらにおしすすめるため、皆様の一層のご協力をお願いいたします。

※献本の方法

○献本は現金または図書でお願いします
○送り先
蒲生町上久徳三三〇八番地
蒲生町立図書館内献本運動推進本部
○献本者は南日本新聞並びに広報かもうに掲載発表しお礼にかえます

予算の執行状況についてその大要を述べましたが収入済額九千七百六十八万九千円支出済額七千四百六万八千円で差引収支二千三百六十二万一千円となっており昭和四十一年度上半期においては一時借入金もしないで収入と支出のバランスを考へながら健全財政の運営に努力いたしました。

町有財産諸表及び町債については、その後、殆んど変動がありませんので省略いたします。

◆特別会計

一、と畜場事業特別会計

予算総額七十三万八千円で九月末日現在の収入は三十万六千円、支出額三十万九千円となり差引三千円の赤字となっており、昨年同期における赤字額八万五千円にくらべその差は縮少されてはおりますが、今日の広域経済圏のもとで地域的に不利な点もあり、その他諸種の事情も考へられるので、今後の対策についても十分検討を加へ健全な運営に努力したいと思っております。

二、国民健康保険特別会計

本会計の概況については去る六月十日発行の本誌八十六号でお知らせしましたが、本年一月一日より世帯員の七割給付が実施された為、病気にかかられた方々の負担が軽減せられ、多大の恩恵に浴しておられる人も多いと考へられますが、最近受診率の向上と医療費の増高によって本会計の経理も楽観を許さない状況であり、近い将来増税もやむを得ないものと思料されますが、本制度をよく理解していただき、健全な運営ができるよう御協力をお願いする次第であります。

三、上水道事業特別会計

昭和四十一年九月末日現在の給水戸数は一、三五三戸で本年度上半期における使用水量は月一戸平均一四・三八屯（学校工場等一個とみなして計算した場合）となっており、給水戸数及び使用水量ともに漸増の傾向にあり、九月末日現在の収支実績は収入済額三百八十三万一千円、支出済額三百二十七万六千円差引五十五万五千円の黒字となっておりますが、これは一般会計からの繰入が八十万円なされている為であり。企業自体としては、赤字となっています。然しながら本会計の経理は順調な運営がなされつっあり今後益々経営の合理化に努力して参りたいと考へております。

◇むすび◇

以上昭和四十一年度上半期における一般会計ならびに三特別会計の財政事情について記述いたしましたが前年度同期にくらべ予算の規模も大幅に伸びておりますが教育施設の整備、産業の振興策に臨時的な投資をなし、もって住民の福祉を積極的に推進し民生の安定に寄与しようと努力を傾注しております。

町民各位におかれましても充分町政のあり方を理解していただき個々の生業を通して町勢の進展に御協力下さるようお願いいたします。

火の用心

火災・盗難
予防につとめましょう
年末

才出予算の内訳（九月末日現在）

費目	予算配分率	(%)
地方交付税		39.4
町税		14.5
県支出金		13.5
町債		10.2
国庫支出金		9.1
繰入金		4.7
諸収入		3.1
財産収入		2.8
使用料及手数料		1.5
繰越金		0.9
分担金負担金		0.2
寄附金		0.1
臨時地方特例交付金		0
計		100%

才出予算の内訳（九月末日現在）

費目	予算配分率	(%)
教育費		27.6
農林水産業費		23.0
総務費		15.6
労働費		8.1
民生費		6.0
公債費		5.1
土木費		4.6
議会費		3.4
衛生費		2.8
消防費		1.6
災害復旧費		1.4
商工費		0.6
予備費		0.2
計		100%

才入予算の内訳と収入の状況

費目	予算現額	収入済額	予算に対する収入歩合(%)
地方交付税	74.815	59.675	79.8
町税	27.593	16.085	58.3
県支出金	25.586	132	0.5
町債	19.400	2.600	13.4
国庫支出金	17.394	5.475	31.5
繰入金	8.886	4.350	49.0
諸収入	5.929	2.280	38.5
財産収入	5.356	3.151	58.8
使用料及手数料	2.853	1.429	50.1
繰越金	1.674	1.674	100.0
分担金及負担金	277	242	87.4
寄附金	189	0	0
臨時地方特例交付金	1	595	595.0
計	189.953	97.689	51.4

才出予算の内訳と支出の状況　(単位千円)

費目	予算現額	支出済額	予算に対する支出歩合(%)
教育費	52.374	23.807	45.5
農林水産業費	43.739	10.251	23.4
総務費	29.622	13.634	46.0
労働費	15.342	8.144	53.1
民生費	11.480	4.217	36.7
公債費	9.687	4.216	43.5
土木費	8.737	3.187	36.5
議会費	6.484	2.783	42.9
衛生費	5.356	1.402	26.2
消防費	3.093	1.377	44.5
災害復旧費	2.660	451	17.0
商工費	1.094	599	54.8
予備費	285	0	
計	189.953	74 068	39.0

と畜事業特別会計才入才出予算の執行状況　(九月末日現在)

才入 区分	予算額	収入済額	予算に対する収入歩合	才出 区分	予算額	支出済額	予算に対する支出歩合
事業収入	737千円	306千円	41.5%	総務費	325千円	103千円	31.4
財産収入	1	0	0	公債費	413	206	49.9
計	738	306	41.5	計	738	309	41.9

国民健康保険特別会計才入才出予算の執行状況　(九月末日現在)

才入 区分	予算額	収入済額	予算に対する収入歩合	才出 区分	予算額	支出済額	予算に対する支出歩合
国民健康保険税	11.649千円	4.092千円	35.1%	総務費	3.224千円	1.312千円	40.7%
一部負担金	50	0	0	保険給付費	35.205	12.231	34.7
使用料及び手数料	45	5	11.1	保険施設費	1.066	288	27.0
国庫支出金	23.616	9.505	40.2	予備費	300	0	0
県支出金	37	0	0				
財産収入	295	75	25.4				
繰入金	4.000	4.000	100.0				
諸収入	103	21	20.4				
計	39.795	17.698	44.5	計	39.795	13.831	34.8

上水道事業特別会計才入才出予算の執行状況　(九月末日現在)

才入 区分	予算額	収入済額	予算に対する収入歩合	才出 区分	予算額	支出済額	予算に対する支出歩合
使用料及び手数料	5.316千円	2.503千円	47.1%	総務費	1.557千円	692千円	44.4%
繰入金	800	800	100.0	水道事業費	552	295	53.4
繰越金	135	285	211.1	公債費	4.100	2.053	50.1
諸収入	418	243	58.1	給水装置費	460	236	51.3
計	6.669	3.831	57.4	計	6.669	3.276	49.1

とじると便利です。